

BCG 予防接種の説明

接種対象年齢	生後1歳に至るまで
望ましい接種年齢	生後5か月以上8か月に至るまで
ワクチンの種類	牛型結核菌を弱めた生ワクチン 接種方法：管針法といってスタンプ方式で上腕の2ヵ所に押しつけて接種
予防する病気	<結核> 結核菌の感染で起こります。わが国の結核患者はかなり減少しましたが、まだ2万人を超える患者が毎年発生しているため、大人から子どもへ感染することも少なくありません。また、結核に対する抵抗力（免疫）は、お母さんからもらうことができないので、生れたばかりの赤ちゃんもかかる心配があります。乳幼児は結核に対する抵抗力（免疫）が弱いので、全身性の結核症にかかったり、結核性髄膜炎になることもあり、重い後遺症を残す可能性があります。BCGは髄膜炎や粟粒結核などの重症になりやすい乳幼児期の結核を防ぐ効果が確認されています。
接種回数	1回
実施時期	年間通して実施
実施場所	個別予防接種実施医療機関
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 接種したところは、日陰で乾燥させて下さい。10分程度で乾きます。接種後10日頃に接種局所に赤いポツポツができ、一部に小さいうみができることがあります。この反応は接種後4週間頃に最も強くなりますが、その後は、かさぶたができて接種後3か月までには治り、小さな傷あとが残るだけになります。これは異常反応ではなく、BCG接種により抵抗力（免疫）がついた証拠です。自然に治るので、包帯をしたり、バンソウコウをはったりしないで、そのまま清潔に保ってください。ただし、接種後3か月を過ぎても接種のあとがジクジクしているようなときは医師に相談して下さい。 外傷などによるケロイドが認められるお子さんは予防接種を受けることができません。
副反応	<p>接種をした側のわきの下のリンパ節がまれにはれることがあります。通常、放置して様子を見てかまいませんが、ときにただれたり、大変大きくはれたり、まれに化膿して自然にやぶれてうみが出る場合があります。このようなときは医師に相談して下さい。</p> <p>【コッホ現象について】</p> <p>お子さんが接種前に結核菌に感染している場合は、接種後10日以内にコッホ現象（接種局所の発赤・腫脹（はれ）及び接種局所の化膿等を来し、通常2週間から4週間後に消炎、瘢痕化し、治癒する一連の反応）が起こることがあります。通常の副反応における接種局所の様相の発現時期（おおむね10日前後）と異なり、接種後数日間のうちの早い段階で発現します。コッホ現象と思われる反応がお子さんにみられた場合は、速やかに医療機関を受診して下さい。この場合、お子さんに結核をうつした可能性のある家族の方も医療機関を受診するようにしましょう。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> 各医療機関に予約の有無や時間を確認してください。 必ず体温を測って、予診票と母子健康手帳を持っていきましょう。